

# 平成 28 年度 JA 石青協ポリシーブック

【全体テーマ】

550 万人と共に創る

「魅力ある農業・農村」

の実現に向けて



**JA YOUTH**

石狩地区農協青年部連絡協議会



## ■ 外部へ協力を要請すること ■

- ・ 私たちは地域のリーダーとして、農業と農村を守り育てる人材の育成に責任をもって取り組みます。また、農業に限らず、その思いに共感する「仲間づくり」を積極的に展開し、連携した活力のある地域を目指します。

その中で、各関係先の皆様には、ともによりよい地域社会を築くべく下記に関連した意見交換や支援等のご協力をお願い致します。

### 【食育】

私たちは、地域社会で食の大切さと農業の魅力を伝えるべく、食農教育を行っています。特に、教育現場で食農教育を行う現役教員に対して、生の農業を体験したことによる授業への波及効果を期待し、「教員を対象とした農村ホームステイ事業」を推進しております。

食農教育や農村ホームステイ事業は、子供や食の将来を見通した上でも、永続的に行うことが必要と考えており、行政や教育関係者の方々の協力を得て、一体となった地域教育を創り上げてゆきたいと考えます。

### 【広報】

私たちは、地域の魅力について、多くの方々との「つながり」を通じた中で、今まで以上に引き出していきたいと考えております。フェイスブックなどの多様なツールを用い、側面までも含めた農業のありのままの魅力を発信していきます。

その中で、関係機関との連携による効果的な発信力の発揮によって、農業・農村の良き理解者である「サポーター」になっていただき、共に行動する仲間を増やしていきたいと考えます。

### 【組織強化】

私たちは、地域のリーダーを育成するために、他団体と共に議論・協議を行い、見識を深めていきたいと考えております。それらを経て、組織としての成長を促していきたいと考えます。

また、他団体との交流をするためには、私たち自身の魅力を引き出さなければならぬと考えます。そのためには、多様な技能取得や出会いの創出により自己を磨く努力を続けてゆきます。

## ■ JA 青年部が行うこと ■

### テーマ： 食育

#### 1. テーマに対する目標と設定根拠

【目標】 「農村ホームステイ事業の宿泊での受入事例年間 10 件以上を目指す！」

【設定根拠】 「農村ホームステイをより定着させるため。件数は、1 単組複数受入の最少数（5 単組×2 件以上）に基づく。」

#### 2. 目標の達成に向けて（ひとつずつ！）

##### （1）石青協の取組内容

H28 取組むこと	期間	評価
活動を盟友や消費者へ周知するべく、FB、JA 広報紙、新聞等を活用。特に盟友に向けては活動の理解、受け入れ促進の為に各単組・ブロックへの説明会を随時行う。	通年	◎

##### （2）外部への協力要請内容

H28 要請すること	期間	評価
<b>【要請先】</b> 「校長会や教頭会」 <b>【要請内容】</b> ・教育側、特に管理職からの本事業への理解をいただき、教員が参加しやすい環境整備（研修化、有給活用など）すること。	通年	△

※評価は、◎「計画を立てて取組んだ」、○「計画まででまだ取組みに至っていない」、△「現在計画を立てている」、×「何も進んでいない」

#### 3. 次年度に向けて（ひとつずつ！）

##### （1）石青協の取組内容

改善点・新たな取組み
前年度より引き続き、各種広報媒体、メディア等を利用し、この活動の当事者となる、盟友、教員の方々への周知を始め、更なる活動認知促進のため、消費者への情報発信に努める。 盟友の活動理解、受け入れ促進の為に説明会開催に関しても、引き続き要請に応じて行う。

##### （2）外部への協力要請内容

改善点・新たな要請
本活動への参加希望教員数、受入希望盟友数のバランスを考慮し、必要であれば、校長会、教頭会等を通じての協力依頼を行う。又、一つ一つの事例をより効果的に派生させるべく、参加教員の方々が、いかにして、その経験を子供達と共有したのかを知る場を設けて頂けるよう、要請して参りたい。

## テーマ： 広報

### 1. テーマに対する目標と設定根拠

【目標】 「JA石青協フェイスブックのいいね数を平成28年度中に200にする！」

【設定根拠】 「いいねを増やしページの閲覧数を増やす目的。数は第1段階として、本地区盟友数（370名）の過半を超える数を置く。」

### 2. 目標の達成に向けて（ひとつずつ！）

#### （1）石青協の取組内容

H28 取組むこと	期間	評価
会議や事業の際に、盟友へ石青協FBへの「いいね」や投稿の「シェア」を呼びかける。	事業ごと	◎

#### （2）外部への協力要請内容

H28 要請すること	期間	評価
【要請先】「各JAの広報や共済担当などを中心としたJA職員」 【要請内容】 ・石青協FBへの「いいね」や投稿の「シェア」を呼びかけ、青年部だけでなくJA全体で盛り上げる形を作り上げること。	通年 (JA訪問時など)	◎

※評価は、◎「計画を立てて取組んだ」、○「計画まででまだ取組みに至っていない」、

△「現在計画を立てている」、×「何も進んでいない」

### 3. 次年度に向けて（ひとつずつ！）

#### （1）石青協の取組内容

改善点・新たな取組み
あくまで、石青協全体の取組となるよう、役員・各単組・部長・ブロック長主導の元、積極的に更新を行う。

#### （2）外部への協力要請内容

改善点・新たな要請
JA職員との相互共有を更にすすめ、発信する。

## テーマ： 組織強化

### 1. テーマに対する目標と設定根拠

【目標】 「道外研修への参加盟友を 28 年度対比で各単組 1 名ずつ増やす！  
（最終 30 年度目標、35 名参加）」

【設定根拠】 「地区を越えたつながりを醸成し、石狩地区としての団結力をさらに強固なものにするため」

### 2. 目標の達成に向けて（ひとつずつ！）

#### （1）石青協の取組内容

H28 取組むこと	期間	評価
・魅力的な研修内容にするべく、団長に加え道外視察研修内容検討部会を部長会議出席者で立ち上げ、より多くの意見を反映する仕組みを作る。	4 月以降の部長会議時	△

#### （2）外部への協力要請内容

H28 要請すること	期間	評価
【要請先】「地元 J A、市町村」 【要請内容】 ・参加人数増による、視察研修に係る助成金の処置及び増額を要請し、多くの盟友が参加しやすい環境整備を図る。	適時	△

※評価は、◎「計画を立てて取組んだ」、○「計画まででまだ取組みに至っていない」、△「現在計画を立てている」、×「何も進んでいない」

### 3. 次年度に向けて（ひとつずつ！）

#### （1）石青協の取組内容

改善点・新たな取組み
更なる告知の徹底

#### （2）外部への協力要請内容

改善点・新たな要請
3 年後引き継ぎの徹底

平成 28 年 12 月 2 日 : 制定